



建築主：千葉市
 設計：(株)桑田建築設計事務所
 施工：新日本建設株式会社
 松栄建設株式会社 [共同企業体]

所在地：千葉市美浜区打瀬3丁目地内

街並みに調和したモダンな外観

かいひん うたせ

千葉市立海浜打瀬小学校



街のアイストップとなるガラスの三角柱

幕張新都心は未来型の複合機能都市といわれる。幕張メッセや高層のホテル・オフィスビルが林立するが、ここは1万人余が暮らす街(幕張ベイタウン)でもある。海浜打瀬小学校は、この地域の生徒増に対応するため打瀬小学校の兄弟校として建設され、平成13年春に開校した。両校とも地域に開かれ、子どもたちや住民にとって魅力的な生活学習空間として高い評価を得ている。

管理諸室や学級室はほぼ中央にあり、楕円形の中庭を囲んでいる。その三方を特別教室棟や屋内運動場棟が包み込んだ配置になっている。それらを広く明るい通路で連絡づけ、魅力的な回遊動線とし、ふれあい・にぎわいの場を形成している。

教室棟はオープンになっており複数学年での学習もできる柔軟性がある。一方では、多人数教育の画一化を打破するための仕掛けが随所に試みられ、各種の活動を促すように子どもたちを誘い込む。

1階隅の図書室は、床を一段下げて落ち着いた雰囲気を作り出し、その隣にはコンピューター室を配置した。こうして多様な情報媒体を総合的に活用できるメディアセンターとしての機能が高められた。

各室は屋外と連続させて緑をとり込み、木材を多用している。自然の採光通風によって快適さを生み出し、環境との共生にも十分配慮された。

「子どもたちを主役とした、さまざまなシーンがあふれ



上空から望む第5のファサード



さまざまなシーンがあふれる中庭

る学校」を目指して行政・地域・学校・設計者が一丸となって取り組んだ成果といえよう。

幕張新都心に相応しい先進的な教育環境として、地域住民の熱い期待が寄せられている。(明智克夫)